

## 井堰と用水路

井堰(いせき)は、川の水をせき止め、田に水を引くために作られた所ですが、河内地区に23箇所あります。中には河内地区から八幡地区の田に水を引いているものや、河内発電所用のものも1箇所あります。各井堰には田に水を流すための用水路がありますが、その用水路を合計すると約24.2kmとなります。したがって八幡川の延長(河川法に基づく二級河川区間)の20.1kmよりも長くなります。農家では毎年黄金色の稻穂を育てるために、この井堰と用水路を大切に管理しています。



白川井堰



門前取水口



用水路の中には、写真のように、川が用水路の上を流れている所もあります。これは用水路の水量が雨などで急に増し、氾濫を防ぐためにこのような形態が取られたものと思われます。

用水路と川(川が上部で、用水路が下部)

## 河内のくらし

1915年(大正4年)に河内小学校の櫻田校長が作詞された「河内村郷土唱歌」の中に次のような詩があります。

流れも清き八幡川 その水上に位せる 山ふところの里なれど  
地の利 人の和 備われり  
中でも農耕運みたり 植林業の年月に 運みて今は四方山の  
景色もとみに秀れたり

この詩にあるように、「都志見往来諸勝図」に見える岩肌の山々が、この頃には地域の人々の努力で緑の山になっていました。

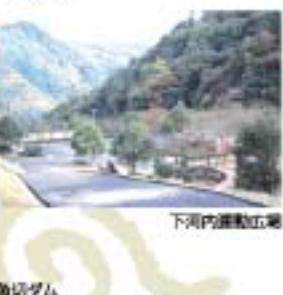
## 八幡川の活用

八幡川  
歴史探訪  
ガイドブック

### 魚切ダム

1981年(昭和56年)3月に完成した洪水調節・上水道用水・かんがい・発電を目的に造られた多目的ダムです。堤防の高さ:79.8m・堤防の長さ:255m・総貯水量:8,460,000m<sup>3</sup>となっています。ダム湖は「窓竜湖」と呼ばれ、名前の由来は北にそびえる窓ヶ山を湖面に映し、竜が幸ったりと遊ぶ様子を表したことです。

魚切ダム建設工事で石を探査した場所は、現在「下河内運動広場」となりテニスコート・多目的グラウンドとして多くの市民が利用しています。



下河内運動広場

魚切ダム

ダムが完成した当時は水もきれいでしたが、1987年(昭和62年)頃から水質が悪化し、2000年(平成12年)の夏には通常の水道水の臭いに影響をおよぼしました。広島県では水の浄化に取り組み、2002年(平成14年)4月稼動予定の「浄化プール」が建設されています。



浄化プール

## 河内発電所

まだ各家でランプを使っていた1905年(明治38年)に、許可を得て75,000円の事業費で工事が始まり、1907年(明治40年)4月23日に広島電気株式会社発電所として造られました。出力は200KWで広島市や呉市などに送られ、1916年(大正5年)頃に河内地区にも電気が送られるようになりました。

この発電所は現在も利用され、国内の発電所のうちでも古いものの一つです。



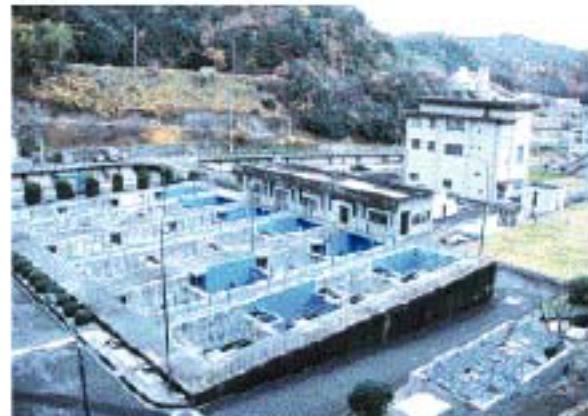
河内発電所に水を送る送水管



河内発電所

## 白ヶ瀬浄水場

1976年(昭和51年)に八幡川の豊富な水量を生かし、広島県西部地域の佐伯区・廿日市市・大野町などに飲料水を送るために造されました。広島県の管理施設で、1日に67,000t、17万8千人分の上水が送られています。



1人が1日に使う水の量は、0.3t～0.4tです。

白ヶ瀬浄水場

# 八幡川の今日

八幡川  
歴史探訪  
ガイドブック

## 河内地区の地名

### 大字名

1889年(明治22年)の市町村制の施行により、佐伯郡に属す江戸時代以来の四つの村落は、旧郷に帰り互いに合併し河内村となりました。その後大字として現在まで存続しています。

#### 上河内

(カミゴウチ)

中世の河内郷の内で、八幡川右岸一帯を領域としています。上流は魚切地区の山稜を境に、下流は支流の荒谷川を境にし、左岸は小深川に接し、中郷を中心としています。

#### 下河内

(シモゴウチ)

上流は支流の日浦畠川を境に白川地区が展開し、下流は支流の荒谷川の右岸と支流の城六川一帯を占めています。河内郷を挟み枝郷の大杉地区も含め、山間支谷に展開しています。

#### 上小深川

(カミコブカワ)

向山南麓の支流の古野川と野登呂川により、形成された河谷地区に展開しています。河谷は狭少で奥行は深く、急流で八幡川本流に合流し、流域には畠田が連続しています。

#### 下小深川

(シモコブカワ)

野登呂川と本流の合流地点で上下に分け、左岸背後の門前山に沿う下流域となっています。

## 上河内地区

### 魚切

(ウオキリ)

景勝の地・次郎五郎の滝は高く、川魚は上流への遡上を立ち切れ地名となりました。

### 白ヶ瀬

(シラガセ)

花崗岩の露岩や風化土壌の真砂により、八幡川の河床には白い瀬が形成されました。

### 中郷

(ナカヨリ)

上河内地区のほぼ中心部に位置し、河岸段丘の末端に多少の民家と水田が広がっています。

### 古川

(フルカワ)

かつて八幡川は河内川と呼ばれました。西部段丘下に旧河道が残り今は古川と呼ばれています。

### 山根

(ヤマネ)

細長い西部山稜の尾根が河谷に迫り、中世には丘陵頂上には山根城が置かれていました。

### 荒谷

(アラヤニ)

河内郷より南東に流れる河川は急流となり、東山麓は荒々しい河谷となっています。



上河内山根付近